

第 2 回小浜市地域公共交通会議 議事録

1 日 時 令和 3 年 1 1 月 4 日 (木) 1 4 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0

2 場 所 小浜市役所 4 階 大会議室

3 出席者 <委員> 2 2 名 (代理出席 2 名) 参加委員リストは会議資料のとおり

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議事

(協議事項①)

小浜市地域公共交通計画の作成に向けた調査について

(協議事項②)

大手橋・城内橋・西津橋架け替え工事に伴う

あいあいバス運行経路変更 (案) について

(3) その他

(情報共有)

小浜線利用促進事業について

(4) 閉会

5 配付資料

- ・ 次第
- ・ 資料 1 : 小浜市の地域及び公共交通の現状について
- ・ 資料 2 : 大手橋・城内橋・西津橋架け替え工事に伴うあいあいバス運行経路変更 (案) について
- ・ 委員名簿
- ・ 小浜線利用促進チラシ

6 議事要旨

- (協議事項 1) 公共交通計画の作成に向け、小浜市の公共交通が目指す姿・方向性 (案) は下記を基本軸として進めていく。
基本理念 (案) 「まちを育み、暮らしを支える公共交通を目指します」
取組みの方向性 (案) ①市民とともに支え育む公共交通
②日々のおでかけを支える公共交通
③わかりやすく・使いやすい公共交通
④まちの賑わいを支える公共交通
- (協議事項 2) 大手橋・城内橋・西津橋架け替え工事に伴うあいあいバス運行経路変更 (案) について、経路変更 (案) は承認され、次回第 3 回会議で運行ダイヤ、移設バス停等について最終協議を行う。

6 議事

(1) 開会

【会長】

前回7月の第1回会議では小浜の公共交通の概況について確認されました。本日の第2回会議では、協議事項である小浜市地域公共交通計画の策定について、ご審議の方いただきたいと思います。

コロナ禍で先が見通せない中かとは思いますが、今後のコロナ明けのことも見据えながら、中長期的な視点の中で、どのように今から取り組んでいくのかが大事になると思います。ぜひ今日ご意見をいただき、実りのあるものにしていきたいと思っておりますので、本日もよろしくお願いいたします。

(2) 議事

(協議事項①)

小浜市地域公共交通計画の作成に向けた調査について 事務局から資料を基に説明。

【会長】

小浜市の現況ならびに公共交通の現状、市民アンケート、住民の方との意見交換会がございました。市民アンケートはいつ頃に行いましたか。

【事務局】

9月中旬に配布しまして、9月末頃までに回収をしています。

【会長】

現況調査や課題出しをした上で、方向性を4つ示し、『まちを育み、暮らしを支える公共交通を目指します』との基本理念を提示しており、皆様からご意見をいただきたいとのことです。

お気づきの点、お考え等、ぜひお聞かせいただきたいと思っております。

【委員】

市民アンケートについて、なぜ年代分布が入っていないのかが疑問に感じました。

また、クルマではない公共交通とは、自動運転のオンデマンドは含まれますか。

【事務局】

アンケートについて、今後さらに集計をする予定で、年代だけでなく、着目するエリアの集計も行う予定です。先程9月末に回収とのことでしたが、実は回収の状況が思わしくなく、しばらく回収を待たせて頂いたため、今回は全体の集計のみとさせていただきます。

【事務局】

自動運転等の将来的なAIを利用した考えがあるのかについては、この計画は策定から5年間と短いスパンの計画であり、計画期間中に自動運転等の技術、法整備等が確立されていけば、検討・研究していくことが考えられると思っています。しかし、この計画期間においては、自動運転について具体的な事業の実施は難しいと思っています。ただし、1つの方策として、デマンド交通を効率的に運行していくため、AIを使った運行経路の設定や検索は考えられると思っています。

【委員】

お伺いした理由として、あいあいバスの通学の利用者数が減少しているのは、子どもの数が減っている中で利用率も減っているのか、車の台数が減らないのは高齢化の実情が反映されているのか、といった疑問がありました。あと、住民のための公共交通と、来訪者の利便性向上とを一遍に解消しようとしているように感じたので、そこを別々で考えた方がよいのではと思います。公共交通を利用するために、ライフスタイルを変えると感じるような提案でした。また、車を駐車できる場所が多くあ

るが、高齢化で免許が持てなくなってくる中で、自動運転でなくても、運転代行のようなものが地域を周って、それに合わせて生活をするといった、アナログなやり方で十分対応できる可能性もあると思います。なにもかもまとめようとするとう具合が生じると思いました。

【会長】

アンケートの分析について、たしかに回答者が3分の1程度しか集まっておらず少ない状況ですが、ご指摘いただいたとおり、通学の子どもたち、免許を持っていない、免許返納を考える、後期高齢者が注目できる部分かと思っておりますので、可能なものについて分析し、次回具体的に示していただいて、計画に反映していけるようにと思っています。

自動運転について、5年ですぐに実用化は難しいですが、全国で実験を行っているので、研究する価値はあると思います。実験的に取り組んで、どれくらい使えるのか、住民の足としてなのか、観光としてなのか等、具体的に検討する余地があると思います。先を見て、計画に入れておくことが必要だと思いましたので、検討させていただいて、他のところでの事例を見て、小浜としてどのような可能性があるのかを入れられるとよいかもしれません。

【委員】

通学のバスと通勤のバス、一般のお客さんの買い物や病院に行くバスを、分離するような交通網を考えたらよいと思います。通勤通学の時間以外は、バスに人がほとんど乗っておらず、赤字で補填が続き、公共機関としての運営が成り立っていくのかと思っています。

高齢者の免許返納について、増えてきています。以前は、小浜市から免許返納時に1万円の補助金をいただきましたが、免許返納にあたり、納得するような、不安を感じないようなものが必要であると話したところ、今年度から補助金1万円とあいあいバス1年間無料がいただけるようになりました。しかし、あくまで1年間で1度きりです。

また、病院や買い物について住民に聞くと、病院は小浜駅の方でよいが、買い物については、まちの形態が変わってきており、南川の商業施設や量販店へ行きたいがバス停がないため、細かいことも見直して、バス停が停まる場所を考えていただきたいです。

【事務局】

通勤通学のバスと、一般のお客様のバスの運行を区別することについて、路線自体を区別するのは今の収支を考えると難しいと思っています。しかしながら、朝夕の通勤通学の時間帯は利用者が多く、日中の利用者が極端に少ないことは把握しており、日中の時間帯を効果的に利用できないかと考えているところです。例えば、バス停を数多く設けて、バス停と目的地との距離を短くする、これはアンケートや意見交換会でも、バス停までの距離が遠いことや、買い物後バス停まで荷物を持って歩けない、複数の施設を回りたいとの意見がありましたので、利便性を上げることは、この計画に反映されるべきものであると考えています。

【会長】

多くの人が車を利用しているので、公共交通がどのような状況であるかは意識されておらず、今回のアンケートで、厳しい状況であることや、将来に向けて大事であることの理解を、高齢者だけでなく、若い人たちもしています。今回のアンケートを通じて初めて理解された状況であることがはっきり出ました。しかし、感じてはいるが、具体的な行動を起こすところで、どうすればよいのかというところに至っていないため、そのあたりが今回のキーの1つになるのではないかと考えています。

また、街中に病院や買い物先があつて、何か所かに寄りたいとのニーズがあるため、これを公共交通でどうサポートするのが重要になると思います。まちなか循環を、どのような形でやるかは議論がいろいろありますが、このあたりの具体的なニーズを探ってみる必要があると思います。

あと、公共交通網の分かりやすさについても、使わなければ分からないところもあるので、各地域の人が関わっていただき、地区の人にとって分かりやすく、シンプルな内容にするなど検討できると思います。

【委員】

これからの都市計画になりますが、行き先がバラバラでは公共交通機関を網羅することが大変であると思うので、エリアを分けて、利用する施設をコンパクトにまとめていただきたいです。現状、学校から競技場に行くのに、交通手段がないため、親の送迎が必要となっています。今後、中学校1校で部活動が組めない場合、地域で取り組むことになると、親の送迎以外に子どもの移動手段がないということが考えられるため、小浜市の計画として、そのような部分でも公共交通の利便性がよりよくなるような、施設の計画を長いスパンで考えていただきたいと思います。

【事務局】

都市計画の話で、国として、コンパクトシティプラスネットワークが進められておりますが、短いスパンでは難しいと思っています。今後、新幹線の駅が明らかになってくると、駅周辺のまちづくりを考える必要があり、これに付随して交通ネットワークを考えていかなければならないと思っています。ご意見について、本計画に反映することは難しいと思いますが、ごもつともであると思います。

【会長】

立地適正化計画には、コンパクトなまちづくりということで、小浜駅を中心とした施設の誘導となっており、まち全体の骨格像としての方向性が示されています。しかし、具体的な施設整備計画や統廃合を考えたときに、実効性をもって行えるのかは、交通のセクションや他の関連計画と繋いでいくことが大事になると思います。

昼間の利用が非常に少ないので、そこで使っていただけるような利便性を考える必要があり、病院やお店との連携も含めて、具体的な策を取り入れなければならないと思います。また、料金施策について、お得と感じる工夫を考えられているところもあり、最近ではサブスクの実験に取り組まれている例もあります。バスを小さくすれば安くなると思われがちですが、細かく走ろうとするとそれだけ数（車両・運転手）が必要になります。できれば、多くの方々が同じ時間に合わせて乗れるような仕組みをベースとしながら、そこに使ってもらえるようなインセンティブを働かせていきたいですが、交通だけでは難しいので、まちづくりの中での協力をどれだけ引き出せるのか、今考えられていることを提示できればいいと思います。

【委員】

基本理念の中に「高齢化社会を迎えるなか」とあるが、公共交通なので、高齢者だけでなく、妊婦さんや体の不自由な方等の交通弱者でも使える公共交通が必要であると思います。

また、アメリカではバスの中に自転車を乗せることが普通だったので、ハード面についても進化するとういと思います。

【事務局】

アンケートや意見交換の場では、特に高齢者とのお話がございましたが、おっしゃる通り、他の交通弱者の観点からも考えさせていただいて、計画に反映できるよう検討していきたいです。

ハード面について、法規制の中で許されるか、実際できるか、日本国内に事例はあるか等、本計画に具体的に挙げることは検討の余地があるかと思いますが、勉強させていただきたいです。

【会長】

小さいバスに乗せるのは難しいかもしれませんが、鉄道では、事例がありますし、嶺南の交通網形成計画には記載されているので、できるのではないかと思います。

先程ご指摘いただいた、着目することに関する分析（エリア、年齢、利用の有無等）を引き続き進めていただいて、提示させていただくということで行きたいと思います。また、課題の整理、方向性についても、異議がないようですので、この線で進めていきたいと思います。

【事務局】

基本理念や方向性について、あくまで案でございますので、会議後でもご意見等がございましたらいただきたいと思います。

【会長】

今回案として出していただいたので、お持ち帰りいただいてお気づきになられた点や、所属先でのご意見があれば、事務局の方にご連絡をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

（協議事項②）

**大手橋・城内橋・西津橋架け替え工事に伴うあいあいバス運行経路変更（案）について
事務局から資料を基に説明。**

【会長】

工事に伴うあいあいバス運行経路変更につきまして、ご質問・ご意見等いただきたいと思います。

【委員】

国土交通省では、バス停の安全性確保の取り組みを強化しており、危険なバス停を極力安全な場所へ移設することを進めております。バス停に関しまして、候補地の段階ではあるかと思いますが、交通量の多い交差点や横断歩道にかからないよう、ご配慮いただくとともに、今後バス停の新設等の際にも、その辺をご配慮いただきたいと思います。

【事務局】

危険なバス停とならないよう、交差点付近や横断歩道の近くを避け、最終調整させていただきたいと思っております。

【会長】

次回、最終確認で申請となりますが、それまでに現場で警察と立ち会いをされて、安全性の確認等をされるということでしょうか。

【事務局】

現時点で、警察の方とだいたいの位置をお話ししている状況で、正式な候補地が決まりましたら、事前に関係者と相談をし、説明させていただきたいと思います。

【委員】

信号移設について、このとり大橋をおりてきたところの信号を、バスの路線で曲がるところに移設するというところでしょうか。

【事務局】

このとり大橋北の信号をそちらに移設するよう、調整中と聞いております。

【委員】

信号の移設は住民の方にお声がけされているのですか。段階を踏んでお話しされるのですか。

【事務局】

信号の移設については、小浜警察が協議中と聞いております。

【委員】

信号の移設が必要となってくる、車の流れが変わるということで、道路管理者や警察が入って、地元の方の意見を聞いたうえで、その他、信号が変わることによって生じるであろう車の流れに対する交通規制も必要なプランを見据えたうえで、協議して取り組んでいるところです。

【会長】

警察や住民の方との話も進んでいるということで、問題ないと思います。

【事務局】

変更案について、現行の経路よりも片道約1 km増える経路が考えられております。その中で、どれくらい時間を要するかについて、通行止め後の交通量が分からないところではありますが、距離を見ながら、交通量のシミュレーションを考慮し、次回会議で運行ダイヤについて協議いただきたいと思っております。

【会長】

普段使われている方に影響がないよう、円滑な運行を図れるようお願いしたいと思います。

(3) その他

(情報共有)

小浜線利用促進事業について

事務局から利用促進の各種チラシを基に説明。

【会長】

いろいろな施策が展開されているので、それぞれの関係の方々にお伝えいただき、参加いただいたり、購入いただいたりのご協力お願いいたします。

先程の現状分析の中で、鉄道とバスを乗り継ぐ人がほとんどいない状況なので、そこも連携しながら使っていただくことを考えると、バスの利用者にも見ていただくために、バスの車内に貼らせていただく等、お互いが連携しながらやっていただきたいと思っております。

(4) 閉会

【事務局】

次回の会議でも交通計画策定に向けて、委員の皆様にご協力をいただきたく思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それではこれで、令和3年度第2回小浜市地域公共交通会議を終わります。ありがとうございました。

以上